

日光医療センター通信

 獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

4
Vol.

2008.11
第4号



主な内容

診療紹介(循環器内科)	2~3
部門紹介(薬剤部)	4
旬を食べよう	5
年末年始の休診のお知らせ	5
お知らせ	5
病院への手紙	6



診療紹介

このコーナーでは、毎回当センターの診療内容についてご紹介いたします。
今回は、循環器内科について紹介します。

診療内容

心臓病、高血圧を中心に広く循環器疾患に関して診療を行っています。
診療活動は地域医療機関と密接な連携を取りながら行われていることに特徴があり、常に患者の皆様方の側に立った診療を目標としています。

関連する症状

胸痛、胸部圧迫感、呼吸困難、息切れ、動悸、脈拍のみだれ、めまい、眼前暗黒感、浮腫

疾患名

1) 心臓病

狭心症(写真1,2,3)、心筋梗塞、心不全、
拡張型心筋症、大型心筋症、不整脈、
心臓弁膜症先天性心疾患、急性心膜炎、
感染性心内膜炎

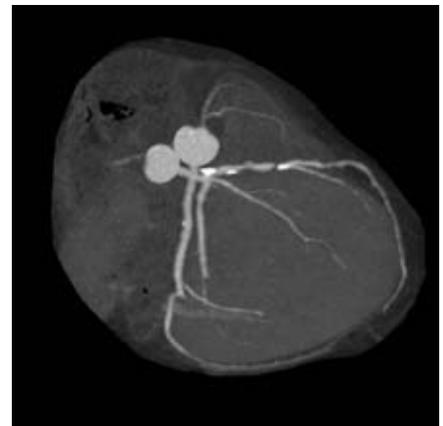


写真1



治療前

写真2



治療後

写真3

2) 動脈疾患

閉塞性動脈硬化症、大解離性大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤、動脈炎症候群

3) 高血圧

本態性高血圧、二次性高血圧(原発性アルドステロン症、腎実質性高血圧、腎血管性高血圧、褐色細胞腫など)



主な検査

心電図、ホルター心電図心臓超音波検査、運動負荷心電図（マスター検査、トレッドミル検査）、CT検査、心臓カテーテル検査、心臓電気生理学的検査

得意とする治療

心臓カテーテル（虚血性心疾患）

虚血性心疾患や弁膜症、心筋炎、心筋症、閉塞性動脈硬化症などの疾患に対して心臓カテーテル検査、大動脈造影を行い治療適応を判定しています（写真4）。虚血性心疾患に関しては、経皮的冠動脈形成術（PTCA）、ステント留置術などの内科的な最先端治療を行っています（写真5）。

心臓カテーテル検査	約300例／年
カテーテルインターベンション	約50例／年
下肢インターベンション	約30例／年



写真4



写真5

心臓電気生理（不整脈）

様々な不整脈患者を対象に、その刺激伝導系の評価、不整脈回路同定、薬効評価目的に心臓電気生理学検査を行い、診断・治療に役立てています。また非薬物療法として、薬剤抵抗性あるいは生命に危険を及ぼす不整脈に対し、永久ペースメーカー植込み術、カテーテルアブレーションによる根治手術などを行っています。

電気生理学的検査	～約50例／年
カテーテルアブレーション	～約35例／年
ペースメーカー植え込み術	～約35例／年

特殊性のある外来の曜日、担当者

■虚血性心疾患	（水） 中野 滋文医師	（金） 星 俊安医師
■閉塞性動脈硬化症	（木） 杉村 浩之医師	
■不整脈	（月） 堀江 康人医師	（火） 轟 正勝医師



部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

薬剤部紹介

薬剤部長 山口 正利

薬剤部では、入院患者様のお薬の調剤、注射薬の供給、薬剤管理指導業務などを主に行っています。

特に薬剤管理指導業務では、投薬記録に基づき、患者様が飲んでいる薬と、食べ物や健康食品などのサプリメント（一緒に服用すると影響を及ぼすものもあります）との相互作用のチェックを行っています。またベッドサイドでは、薬の作用や副作用はもちろん、正しい飲み方や飲む時の注意点などを、薬剤師の視点からわかりやすく説明、指導をしています。

外来患者様のお薬は、医薬分業の推進を図るため平成18年4月の開院以来、原則として院外処方箋を発行しています。

院外処方箋は、発行日より4日以内の期限内に保険薬局で調剤をしてもらって下さい。

期限を過ぎると無効となり再発行が必要になります。

特に連休の時などご注意ください。

全国のどの保険薬局でも処方箋の受付、調剤が可能です。

なお、最近では、国が医療費の抑制策として後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用を推し進めています。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは、新薬（先発医薬品）と有効成分が同一であって、投与経路、用法、用量ならびに効能・効果が同一である医薬品のことをいいます（ただし、発売時に特許の関係上、効能・効果が異なる医薬品もあります）。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）を希望される場合には、主治医の先生に申し出て下さい。



昨今、テレビや新聞等でもお薬に係わるニュースが流れるようになり、お薬に対する関心が高まっています。

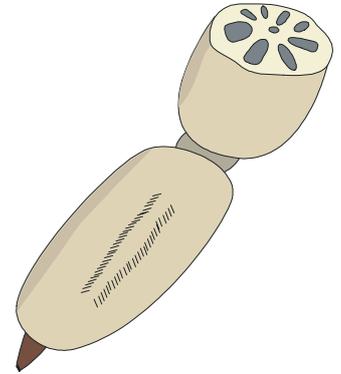
薬剤部一同、患者様一人お一人が、一日も早く健康な生活が取り戻せるよう、日々、努めておりますので、もらったお薬に関して、何か疑問、質問等があれば、ご遠慮なくご相談下さい。



旬を食べよう (れんこん)

れんこんは秋から冬が旬です。

正月料理や祝い料理によく使われるのは、れんこんに穴があいていて《見通しが良い》とされているからです。れんこんの成分はビタミンCと食物繊維を多く含んでいます。糖質の大部分はでん粉で、粘質物を多く含むために切ると糸を引きます。ビタミンB1や肝臓の働きを助ける作用をもつビタミンB12も含んでいます。



《見分け方》

外見がきれいでつやがあり、節が少なく重みのあるもの。

穴の中が黒くなっているものは避けましょう。

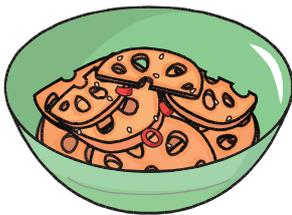
《注意点》

アクが強いので、変色を防ぐため切ったらすぐに水につけ茹でるときに酢を落とすと白く仕上がります。

シャキシャキした歯ごたえが特徴なので加熱しすぎに注意しましょう。

《美味しい食べ方》

- 煮物** 肉や根菜類・ちくわなどと合わせて筑前煮
唐辛子をピリッときかせてきんぴら
- 揚げ物** 挽肉を詰めて天ぷらやフライ
細かく刻んで魚介類や野菜とかき揚げ
- 和え物** 薄切りしさと茹でて他の野菜と合わせて…
和風マヨネーズ(醤油&マヨネーズ)
ごま味噌(すりごま&砂糖&味噌)
甘酢(砂糖&酢)



年末年始の休診のお知らせ

- 12月27日(土) 平常どおり診療
- 12月28日(日) 日曜休診
- 12月29日(月)～1月3日(土) は年末年始休診
- 1月4日(日) 日曜休診
- 1月5日(月)～ 平常どおり診療

休診日については、時間外外来の診療を行っています。
診療を希望される方は0288-76-1515(代表)へお電話ください。
※入院患者様の付き添い・ご面会については通常どおりです。

お知らせ

日光医療センター通信のバックナンバーを、当センターホームページ

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/tuushin/index.html>

に掲載しております。是非ご覧ください!





病院への手紙にお答えいたします

～当院の各部署に設置してあります、ご意見箱に寄せられる
患者さまのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

ご意見・ご要望

携帯電話使用エリアの設置について

<72歳 男性>

病院内で携帯電話を使用できないか？

A お答えいたします

ご承知のように、携帯電話は、医療用電子機器（輸液ポンプ、シリンジポンプ、ペースメーカー、人工呼吸器）等に悪影響を与え、誤動作による事故を防止するため病院内での使用を制限する必要があります。また、入院されている方々の安静の妨げになる場合もあり、建物構造上専用スペースを確保することも難しいことから、開院以来病院内での携帯電話の使用を禁止しております。皆様には、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

ご意見・ご要望

両替機を設置して欲しい

<45歳 女性>

病棟のランドリー室に両替機を設置して欲しい。

A お答えいたします

当センターの病棟各フロアには、コインランドリーが設置されておりますが、現状では両替機の設置は難しい状況となっております。大変ご迷惑をお掛けいたしますが、両替が必要な方につきましては、1階売店で両替いただくか、お近くの職員にお申し出いただければ、売店職員が病棟にお伺いし対応いたしますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

ご意見・ご要望

入院中の食事について

<61歳 女性他>

- ①主食がパンなのに主菜のおかず（焼き魚）がパンと合っていない。
- ②食パン以外のパンも出して欲しい。

A お答えいたします

当センターでは、医師の許可のもとご希望により主食のみ「ご飯」から「パン」へ変更が可能であることから、今回のような組み合わせになってしまいました。今後は、パン食を希望される皆様には少しでもおいしく召し上がっていただけるよう、可能な範囲でパン食に合った主菜を提供したいと考えております。

編集後記

日光は日本の中でも、紅葉の美しさで有名です。晩秋に映える木々は、本当に心洗われる気持ちになります。しかし、この紅葉の美しさは、何度も寒い夜の霜を堪え忍んできたからこそ、あの錦織なす色を見せてくれるといえます。

やがて枝から落ちていく紅葉に、厳しさに耐える強さと感謝を感じつつ、師走に向かいこの一年を振り返ってみたいものですな・・・
(佐藤真弓)

当センターと一緒に働いてみませんか？

平成21年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで

TEL 0288-76-1515 (内線270) 看護部

※平成20年度採用についても随時対応いたします

日光医療センター通信 第4号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地

TEL 0288-76-1515 (代表)

FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日／平成20年11月1日

編集・発行／獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷／鈴木印刷(株)